

令和2年第2回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和2年6月10日(水) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|-----------|
| (1) 新緑水クラブ | 20分 | (1 北川明夫) |
| (2) 市友会 | 20分 | (2 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 20分 | (3 井上純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 20分 | (4 坂 ゆかり) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (5 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 北川明夫議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>1 本市は、国の感染拡大防止の方針を受けて、令和2年2月26日に新型コロナウイルス感染対策本部を設置し、迅速に各種の対策を講じてきたところである。そこで、初めにこれまでの緊急対策の実施状況について伺う</p> <p>2 国内の感染拡大が進み、緊急事態宣言が出される中で、市民生活や地域の経済活動に大きな影響が出てきている。そこで、これまでの市民・世帯や事業者に向けた支援対策の実施状況等について伺う</p>	<p>(1) 市内の感染者の発生状況と濃厚接触者を含む関係者への緊急対策の実施状況はどのようなか</p> <p>(2) 公立西知多総合病院を始め、市内の医療機関、高齢者施設や障害者施設等との連携体制及び支援の実施状況はどのようなか</p> <p>(3) 小中学校、保育園、放課後児童クラブや児童館における緊急対策の実施状況はどのようなか</p> <p>(4) 市民体育館、芸術劇場、中央図書館やしあわせ村等の公共施設における緊急対策の実施状況はどのようなか</p> <p>(1) 令和元年度及び2年度予算で実施してきた市民・世帯に向けた支援対策の実施状況はどのようなか。また、水道料金の免除など全市民に関わる支援策の内容はどうか</p> <p>(2) 令和元年度及び2年度予算で実施してきた事業者に向けた支援対策の実施状況はどのようなか。また今後、不況業種に対する追加実施する支援内容はどうか</p> <p>(3) 市民や事業者からの相談や問合せ等への対応状況はどのようなか。また、それぞれ迅速に対応するため、ワンストップの相談窓口を設置してはどうか</p> <p>(4) 市が実施している感染拡大防止対策や、市民・世帯や事業者に直接かかわる支援策などを分かり易くまとめたガイド冊子を発行してはどうか</p>	
2 感染症の再流行に備える今後の課題について	1 社会経済活動と感染拡大防止を両立させるため、一人一人の実践が必要となる新しい生活様式について、今後の周知方針を伺う	(1) 感染拡大防止のための新しい生活様式は、一人ひとりの基本的感染対策を始め、日常生活上の対策や働き方の新しいスタイルに及んでいるが、市民や事業所に対し、どのような方法で周知徹底を図っていく考えなのか	

	<p>2 本市は、平成27年3月に策定された新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき対策を講じている。一方で国は、感染拡大を踏まえ、避難所対策を中心に防災基本計画を改定した。そこで、今回の経験を教訓に、地域防災計画と合わせて、対策行動計画をどのように見直すのか伺う</p>	<p>(1) 現行の対策行動計画の下で、医療機関や高齢者施設等との情報交換及び防護用具の供給等は十分に実施できたのか。また、計画自体の課題としては何があり、今後、どのように見直しを行う考えなのか</p> <p>(2) 感染症対策の最中に、大規模な自然災害が発生した場合を想定し、避難の在り方、避難所施設の整備と運営方法、ボランティアの受入など、地域防災計画の見直しが急務だと思うがどうか</p>	
	<p>3 資金繰りが悪化する事業者や生活資金に苦しむ世帯の増加により、税金の落ち込みが懸念される一方で、公共施設の閉館やイベント等の中止により歳出面の執行残も多く見込まれる。当面の財政運営に大きな影響が生じると予測されるので、今後の対応方針等を伺う</p>	<p>(1) 歳入面では、固定資産税等の減免の増加や、個人・法人の市民税等の減少が予測されるが、令和2年度・3年度の税収見通しと財源確保の対応方針はどのようなか</p> <p>(2) 歳出面では、臨時的な支出が増加する一方で、市主催事業の中止等により不用あるいは減額となった経費があると思うが、今後の財政運営の方針はどのようなか</p> <p>(3) 令和2年度からスタートした第7次実施計画は、新駅周辺等整備や養父森岡線整備など大規模事業が多く予定されており、影響が気掛かりだが、現時点ではどう対応していく考えなのか</p>	
	<p>4 小中学校が長期に臨時休業したことによる学習の遅れ等に対する対応方針と、学校再開後、各学校における新しい生活様式に対応した準備状況について伺う</p>	<p>(1) 3か月に及ぶ臨時休業により、子供達の学習面や生活面での影響をどのように捉えているのか。また、再開後の学校生活の中で、どのように取り戻していくのか</p> <p>(2) 各家庭での遠隔学習環境の実態調査を行ったと伺うが、その結果はどのようなか。調査結果を受け、今後の課題は何か。また、どう対策を進めていくのか</p> <p>(3) 学校内の感染拡大防止のため、保護者との連携協力体制はどう行っているのか。また、マスク、消毒液や体温計など必要な資機材の準備状況はどうか</p>	

	<p>5 感染拡大防止を進めることと、町内会や自治会等の様々な市民活動を推進することは、両立が極めて難しい状況にあり、団体の維持そのものの危機的状況だと思う。そこで、いま行政が取るべき支援策について伺う</p>	<p>(1) 約56%に下がっている加入率は、一層低下する危険性があるので、この機に加入促進条例を制定し、集合住宅等への加入促進マニュアルを整備するなど、行政からの働きかけを強化することが必要と思うがどうか</p> <p>(2) 住民自治組織を活性化するには、今以上に人と財源を供与することが肝要なので、人材支援の強化策と合わせて、交付金等を増額し財源拡充を図ってはどうか</p>	
	<p>6 特別定額給付金を早期に支給するためマイナンバーカードが活用されているが、普及率は未だ20%程度に止まっている。今後、普及率アップを促進するため、本市独自の利便性の拡大方策等について伺う</p>	<p>(1) 令和3年3月からマイナンバーカードに健康保険証機能を付与する準備が進められているが、印鑑登録証や図書館利用者カード等への利用拡大を図り、さらに各種申請時の添付書類の省略を可能にするなど、早期に独自利用に取り組んではどうか</p> <p>(2) マイナンバーカードを提示すると、申請書等への押印に代わるものと評価されれば市民の利便性は大幅にアップすると思うが、見直しの実施状況はどのようなか</p>	

質 問 者	2 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新型コロナウイルス感染症への対応について	1 令和2年に入り新型コロナウイルス感染症の拡大が伝えられてからは、その感染症予防等の対応において、保健所をはじめとする関係機関との連携が不可欠であったと想像する。地域住民の健康や衛生を支える機関である保健所との連携について、実状と本市の考えを問う	(1) 保健所と連携した感染症予防等の対応が行われたとのことだが、どのような連携が行われたのか (2) 今後、健康を維持するための様々な施策を推進するうえで、保健所との連携は不可欠と考えるが、この度の感染症予防等の対応により、本市と保健所との関係が、どのように変化したと考えているのか	
	2 市内で新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されたことに伴い、感染拡大を抑制するために設置された緊急時生活支援チームについて、その設置の経緯と取組を問う	(1) 感染者との濃厚接触者の定義や緊急時生活支援チームの適用範囲は、どのようなものなのか (2) 感染者や濃厚接触者等、自宅待機の協力を求められた者の情報は、保健所をはじめとする関係機関から、どのように提供されたのか (3) 緊急時生活支援チームの構成と活動内容は、どのようなものなのか (4) 今回のチーム設置と活動の経験によって得られた反省や課題は、どのようなものがあるのか	
2 児童生徒の熱中症対策について	1 本市の児童生徒を取り巻く学習環境において、小中学校の普通教室への空調機設置が完了したことから、令和2年度は夏季休業期間の大幅な短縮が打ち出されていることから、熱中症対策の観点で2つの大きな変化が生じていると考える。学校現場等における児童生徒の新たな熱中症対策について、本市の考えを問う	(1) 普通教室への空調機設置が完了したことによる熱中症対策の変化は、どのようなものがあるのか (2) 夏季休業期間を大幅に短縮することによって生じる熱中症に対するリスク管理をどのように考えているのか (3) 夏季休業期間が大幅に短縮されるなか、授業等の学校現場のみならず、登下校や放課後等にも熱中症予防に気を配る必要があると思われるが、それらを踏まえた熱中症対策の検討は行われているのか	

<p>3 自殺対策について</p>	<p>1 本市の自殺の特性は、健康問題、失業や退職、職場での配置転換等の仕事に関する問題が主な背景となっていると捉えている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会的影響により、それらの問題が際立ってくるのが想定され、自殺対策のより充実した展開が必要と考える。今後の自殺対策について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 国は、9月10日の世界自殺予防デーに因んで毎年9月10日からの一週間を自殺予防週間と定め、広報啓発活動を展開することとしているが、本市はどのような啓発活動を考えているのか。また、その啓発活動は、本市の特性を踏まえたものとなっているのか</p> <p>(2) 国が定める自殺総合対策大綱によると、自殺死亡率を令和8年までに平成27年と比べて30%以上減少させる数値目標を掲げているが、本市の平成27年と令和元年の実状及び目標とする自殺死亡率は、どのようになっているのか</p> <p>(3) 本市が目標とする自殺死亡率を見据えた中長期的な自殺対策の検討は行われているのか</p>	
<p>4 子どものオーケストラ育成基金について</p>	<p>1 未来を担う子どもたちのオーケストラ活動を通じた、ひとづくりの推進及び豊かな人格の育成を進める事業を、資金面から支援する子どものオーケストラ育成基金について、基金を支えるサポーター制度とその運用を問う</p>	<p>(1) サポーターの募集は、どのような方法、内容及び頻度で行われているのか</p> <p>(2) 実際に応募に至った際には、いつからいつまでが、サポーターとなる期間であるのか</p> <p>(3) サポーターへの育成基金に関する活動及び会計等の事業報告は、どのような方法、内容及び頻度で行われているのか</p> <p>(4) 育成基金の事業計画は、どのような審査機関を経て決定されているのか</p>	
	<p>2 子どものオーケストラ育成基金の原資となるサポーターから寄せられる寄附金について、現状と今後の考えを問う</p>	<p>(1) 会計の年度は、いつからいつまでを対象期間と定めているのか</p> <p>(2) 令和元年の会計年度における寄附金の実績はどのようなのか</p> <p>(3) 令和2年の寄附金見込み額はどのようなのか。また、総事業費に対する寄附金の占める割合は、どの程度を見込んでいるのか</p> <p>(4) 本市が描く、ひとづくりを実現するためには、どの程度の寄附金が必要であると考えているのか</p>	

<p>5 高潮や津波から堤内地を守る施設について</p>	<p>1 本市の地域特性を見た場合、また、過去の教訓を生かす観点から、高潮への防止対策は重要であると考える。堤防と一体となって高潮や津波から堤内地を守る施設である樋門や陸閘について、本市の現状と今後の考えを問う</p>	<p>(1) 市内に樋門と陸閘は、それぞれ、どこに何箇所設置されているのか (2) 市内に設置されている樋門や陸閘の作動確認や異常の有無等の日常的な設備点検は、誰がどのような頻度で行っているのか (3) 気象警報や注意報が発表される等で、樋門や陸閘を操作する必要がある際には、誰が操作するのか (4) 樋門や陸閘の設備点検や緊急時の操作等を一括して民間へ業務委託する自治体もあるが、民間への業務委託に関する調査研究は行われているのか</p>	
------------------------------	---	---	--

質 問 者	3 井上純一議員（公明党）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 オンライン授業の実施について	1 新型コロナウイルス感染拡大で休校が続く中、明らかになったのは、緊急時におけるICT活用の有用性である。文部科学省がGIGAスクール構想の前倒し実施を進める中、本市のオンライン授業等への取組について問う	(1) 本市のGIGAスクール構想実現に向けたソフト面の計画はどのようなものであるか (2) GIGAスクールの環境整備のために、市内全小中学校の児童生徒の家庭におけるインターネット環境の実態調査を実施したことだが、その結果を受けてどのような対策を考えているのか (3) 「新しい生活様式」の実践として、オンライン授業をどのように取り入れていくのか	
2 保育所入所手続きの効率化について	1 マイナンバーカードの本人認証機能を活用したオンライン申請の実現は、対面を回避する「新しい生活様式」の実践と同時に、自治体の業務の効率化、市民サービスの向上につながる。活用方法の一つとして保育所の入所手続きについて問う	(1) 2020年度の一斉入所申込者のうち、保育の利用を必要とする理由が両親等の就労である児童は何人いたのか。また、一斉入所申込者に占める割合はどれくらいか (2) 保育所の入所申込みには非常に多くの書類の提出が必要となるが、一般的に必要となる書類はどのようなものがあるか (3) 保育の利用を必要とする理由が就労の場合、マイナンバーカードの本人認証機能を活用してマイナポータルから、オンライン申請を可能とするためにはどのような課題があると考えているのか	

<p>3 森林環境税等について</p>	<p>1 森林環境税及び森林環境譲与税は、戦後の拡大造林政策で植えたスギ・ヒノキ等の放置された私有人工林を適正管理し、地球温暖化対策や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された。また、森林環境譲与税は、2024年度からの森林環境税の施行に伴い段階的に増額となり、最終的には2019年度の約3倍となる計画である。そこで、本市の森林環境譲与税の今後の活用方針について問う</p>	<p>(1) 2019年度から譲与が開始された森林環境譲与税の2019年度及び2020年度の本市への譲与額はどのようなものであるか (2) 人工林の少ない市町村の森林環境譲与税の使い道として、水源地の森林保全と子どもたちに森の大切さを伝える環境教育が考えられるが、本市の取組はどのようなものであるか (3) 今後、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」の達成に向け、どのような活用を考えているのか</p>	
	<p>2 森林環境譲与税の使い道として、木材の利用促進等のほかに、自然や野生動物と人との共生社会の実現を目指す森林空間の総合利用が考えられる。そこで、ドイツで生まれた地域の自然資源を活用した健康プログラム「クアオルト健康ウォーキング」の推進について問う</p>	<p>(1) クアオルト健康ウォーキングの効果について、どのように評価しているのか (2) 市内企業の健康経営への取組状況をどのように把握しているか (3) 森林環境譲与税を活用した全市民対象の健康づくりとして、行政、医師会、民間事業者等で推進協議会を結成してクアオルト健康ウォーキングを推進すべきと考えるがどうか</p>	
<p>4 中学校体育館等へのエアコン設置について</p>	<p>1 2020年度における災害対策として、名和中学校及び横須賀中学校の体育館にエアコン設置が検討されている。そこで、フェーズフリーの観点から、学校設備におけるエアコン設置場所の優先順位及び平時における利用について問う</p>	<p>(1) 災害対策の観点から中学校2校の体育館へのエアコン設置が検討されているが、平時における利用はどのように考えているのか (2) 学校におけるエアコン設置については、平時の利用頻度及び学校の声等を考慮し、進めていく必要があると考えるが、学校の要望をどのように捉えているか</p>	

5 避難所における感染防止対策について	1 新型コロナウイルス感染拡大の第2波が警戒される中、梅雨や台風等による災害が発生した場合に備え、避難所における感染症対策に万全を期すことが重要である。そこで本市の対策について問う	(1) 避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、先日、段ボール製間仕切り等の物資調達の協定を締結したが、今後どのように展開していくのか	
---------------------	--	--	--

質 問 者	4 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新型コロナウイルス感染症対策について	1 新型コロナウイルスの感染防止のため、新しい生活様式を実践することとしているが、学校現場における必要な教育環境の整備について問う	(1) 現時点で、小中学校で1クラス30人を超える学級はどれだけあるか (2) 県内では、みよし市が小学校で1クラスの最大人数を28人程度に減らすことを目指している。教室内の3密を避けるためにも、30人以下の学級編制を進める必要があると思うが、本市の考えはどうか (3) 教員の多忙化が問題となっている中で、今回の新型コロナウイルス対策において、教員が給食の配膳や机、上履き、トイレ等の消毒を行っていることから、負担が増大しているため、消毒業務等を行う職員を臨時的に雇用する等、教員の負担軽減に向けた対策を迅速にとる必要があると考えるがどうか (4) 現在の小中学校のトイレは和式便器がまだ多く設置されている。感染防止の面からも、和式便器をふた付きの洋式便器に改修すべきと考えるがどうか (5) 今後、長期間にわたる感染症対策が求められる中で、学校で安全に学ぶためには、3密を避ける少人数学級の実現、トイレの完全洋式化及び手洗い場の増設等により校内環境を改善していくことが重要と考えるが、そのための校舎の建替えや改築等を早急に計画すべきではないか (6) コロナ危機の下で、収入が急減する家庭は今後増加すると考えられるが、南知多町や武豊町では給食費の無償化を実施としている。本市においても、同様の対応をすべきではないか	

	<p>2 コロナ危機の中で、経済的に困難な状況に置かれている市民や子育て世帯への市独自の支援拡充について問う</p>	<p>(1) 事業者に対する、国の持続化給付金は売上が50%以上減少していないと申請できないため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を幅広く救済することを目的とした、持続化給付金の対象とならない事業者向けの市独自の支援金制度を設ける考えはあるか</p> <p>(2) 子育て世帯の応援の一つとして、令和2年度中に生まれた赤ちゃんに対し、市独自で10万円を給付する考えはあるか</p> <p>(3) 感染予防のために手洗い等の励行が強調され、水道の利用が増えている。そこで、感染予防及び経済的負担の軽減を目的とした、水道料金の基本料金の免除を行い、今後の感染拡大の第2波、第3波に備えるために、少なくとも4か月以上の期間で実施すべきと考えるがどうか。また、県内では、水道料金の基本料金を免除する自治体が増えていることから、県営水道の料金引き下げを近隣の自治体と連携して要請する考えはあるか</p>	
	<p>3 コロナ危機の中での、災害に対する備えについて問う</p>	<p>(1) コロナ危機の中で、台風や豪雨、巨大地震等で避難所を開設することも想定される。避難所となっている学校体育館内における避難環境を改善し、健康状態を良好に保つため、エアコン設置を早急に進めるべきではないか</p> <p>(2) 感染防止のため、3密を避けることができる多様な避難所の確保が求められているが、学校体育館だけでなく、教室も避難所として使用する考えはあるか。また、避難所として、ホテル等の宿泊施設を予め確保するために、市内ホテル事業者と協定を結ぶ考えはあるか</p> <p>(3) 避難所での感染クラスターを防ぐため、日頃から手洗いや消毒等の仕方を、子どもから高齢者まで、わかりやすい方法で周知徹底するべきではないか</p>	

	<p>4 新型コロナウイルス感染症関係の様々な情報が出される中、市からの情報提供の方法について問う</p>	<p>(1) インターネット環境がなく、ホームページ等から情報を取得できない市民のために、紙ベースで同様の情報を随時、提供すべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 緊急性の高い情報が市民に速やかに届くように、防災スピーカーを活用するとともに、市内全域をカバーできるように増設する必要があると考えるがどうか</p>	
--	---	--	--

質 問 者	5 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 降下ばいじんの迷惑料について	1 臨海部企業からしばしば有色煙が出ており、本市の降下ばいじん対策は不十分であると感じるが、市民税、固定資産税の減免理由として、降下ばいじんは対象にならないとのことである。降下ばいじん対策について、市が補償すべきと考えることから、本市の考えを問う	(1) 企業、国、県及び市から財源を集め、降下ばいじん迷惑料を設定し、降下ばいじん量が1平方キロメートル当たり最大で月3トン以下になるまで、降下ばいじん量の多い市南西部地区の各世帯に年間50万円、加木屋・富木島地区の各世帯に年間25万円、市北部地区の各世帯に年間15万円を10年間以上在住の希望者に対して支払うべきと考えるが、本市の考えはどうか	
2 防災スピーカーの有効活用について	1 周辺市町では、防災スピーカーを活用し新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起を行っていることから、本市における防災スピーカー活用の考えについて問う	(1) 市内に合計22基ある防災スピーカー及び市内6中学校の放送設備を新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起に利用すべきと考えるがどうか	
3 市民の声を市長へ届ける機会の充実について	1 大府市が「市長への手紙・メール」コーナーを設けたように、本市も市民の声を市長へ届ける機会を充実させるべきと考えるが、本市の考えについて問う	(1) 本市は、大府市の「市長への手紙・メール」コーナーの内容をどのように把握しているか (2) 市民の意見を広く聞く手法として、本市も大府市のような「市長への手紙・メール」コーナーを設け、市民の声を直接聞く機会を設けるべきと考えるがどうか	
4 市内循環バスの停留所について	1 市内循環バスの停留所の248箇所のうち、屋根や椅子が設置されていない箇所もある。夏の路面温度は60度に達することもあるが、高齢者も多く利用することから、停留所の環境整備を充実すべきと考えるが、本市の考えについて問う	(1) 利用者の多い市内の停留所に、屋根を設けるべきと考えるがどうか (2) 歩道幅員の狭い停留所にヒップバータイプの椅子を設置すべきと考えるがどうか	

5 道路照明灯について	1 市内の生活道路には、夜間通行があるにもかかわらず道路照明灯が設置されていない箇所が存在する。このことから、本市の現状、取組状況及び今後の対策について問う	(1) 市内には、道路照明灯のない生活道路は何路線あるか。また、すべての生活道路に道路照明灯を設置しない理由及び今後の対策は何か (2) 高横須賀町城山地区の高横須賀駅から中ノ池方面へ通る生活道路には、35年間、道路照明灯が設置されていないが、設置しない理由は何か	
6 投票所について	1 中ノ池地区には投票所が設置されていないこと、また、上野町と横須賀町が合併し、南北に長い本市であるが、市北部及び南部に期日前投票所が設置されていないことから、市民の利便性向上による投票率アップの方策について問う	(1) 中ノ池地区から選挙管理委員または補充員は選出されているか (2) 今日まで投票所が設置されていない中ノ池地区の住民に対して、アンケート等による投票所設置についての調査研究は行われているのか。また、行われていない場合、その理由は何か (3) 中ノ池地区への投票所設置に至らない理由は何か。また、今後、中ノ池集会所及び敬老の家に投票所を設置する予定はあるか (4) 市民の利便性向上による投票率アップのため、市北部及び南部に期日前投票所を設けるべきと考えるがどうか	
7 高齢者安全運転支援装置の設置について	1 65歳以上の高齢者が運転する自家用車に、後付けで安全運転支援装置を設置した場合の設置費を国、県及び市が補助する高齢者安全運転支援装置設置費補助制度の現状及び今後の取組について問う	(1) 事業開始からの申請件数の推移及び課題は何か。また、令和2年度の申請件数の見込みはどのようなか (2) 今後、どのように事業をPRしていくのか	
8 国立長寿医療研究センターについて	1 国立長寿医療研究センターは平成16年に大府市に開設し、本市の市民も多く利用していると考えられる。しかし、市南部から公共交通機関を利用して国立長寿医療研究センターへ行く際、名古屋経由で行っている等不便であるとの声がしばしば聞かれることから、今後の対策について問う	(1) アクセスの利便性向上のため、市内循環バスの路線を国立長寿医療研究センターまで延伸すべきと考えるが、本市の考えはどうか	

9 新型コロナウイルス感染症対策について	1 新型コロナウイルス感染症への対応及び対策に周辺市町と差が生じていると感じることから、本市の取組及び本市独自の支援策について問う	(1) 本市が独自で行った新型コロナウイルス感染症への支援策の内容はいかに (2) 周辺市町と比べ、内容や対応の機敏さに差が生じていると感じるが、原因は何か。また、課題及び今後の対応はいかに	
10 大気汚染対策について	1 降下ばいじん及び悪臭は、本市南西部に多く飛来し、50年以上にわたり市民の生活に深刻な影響を与えていると考えることから、本市の現状及び今後の対策について問う	(1) 降下ばいじんの発生源が公共施設ではないため、市が降下ばいじんによる生活上の負担に対する補助を行うことについては考えていないとのことであるが、今日まで降下ばいじんに対する規制及び補助を行っていないことによる責任を市はどのように考えているか (2) 降下ばいじんによる、人体及び市民生活への影響をどのように考えているか (3) 臭気及び降下ばいじんに対して、健康に悪影響がなければ市民には注意喚起をしないとのことであるが、市民生活及び人体への影響の状況についての調査はどのように行っているか。また、市民生活及び人体に影響が出た場合、どのように対応するのか (4) 市南西部の公共施設に降下ばいじん対策の有識者を配置する考えはないとのことであるが、文化センター、横須賀図書館及び市南西部の各保育園からの苦情、被害報告の件数とその内容はいかに (5) 降下ばいじんの多い横須賀小学校に対する注意喚起については、直ちに人体への影響がないため、行っていないとのことであるが、市内の小中学校における校舎内外、プール及び屋外トイレ等への降下ばいじん対策はどのように行っているか (6) 令和2年5月19日、高横須賀町地内の電気機械工場から降下ばいじん被害の通報があり、現地で確認したとのことだが、原因及び本市の対応はどのようなか。また、このことを県に対して報告し、対策すべきと考えるがどうか	

		<p>(7) 新型コロナウイルス感染症対策として、換気のために窓を開けている家庭も多いと思うが、本市では西風または北西風時には臨海部企業からの降下ばいじんが流れ込むことから、風向きに応じて広報車で注意喚起を行うべきと考えるがどうか</p> <p>(8) 臭気の調査は、工場と敷地境界線上において、風向きに関係なく年1回実施しているとのことだが、それにあわせて北西風時の臭気感知地点においても年数回、調査を行うべきと考えるがどうか</p>	
--	--	--	--